

# 愛知県立一宮工科高等学校で防災講座を行いました

令和7年7月17日（木）、愛知県立一宮工科高等学校 都市工学科の2年生に水害と地震の防災講座を行いました。6月19日から4回にわたり行ってきたこの講座も今回で最後となり、25名が受講しました。

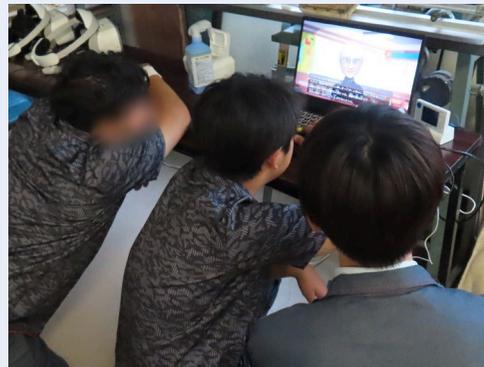
水害の講座では、伊勢湾台風、9.12豪雨、東海豪雨など過去の水害を学び、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A1語り部との対話体験を行いました。A1語り部との対話体験では、「どうやったら生き残れるの?」「元の生活に戻るまで何日かかりましたか?」などの質問をして、避難や備えなどへの理解を深めました。

地震の講座では、能登半島地震や濃尾地震など過去に発生した地震、実験や映像を通して液状化現象について学習しました。また、一宮市は最大想定地震の際は震度5強から6強と揺れやすく、液状化の危険度が高いことも確認しました。

なお、普段土木の勉強をしていることから、堤防決壊の原因やバックウォーター現象、地震動の周期の違いなど専門的な内容にも触れました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

## 水害



## 地震

